

社会人のキャリアアップ、キャリアチェンジを応援する“社会人学び直しプログラム”です

## 秋田大学アドバンスト・リエデュケーション・カリキュラム

AAReC (Akita-University Advanced Re-education Curriculum)

### ◆本プログラムの目的◆

社会人が時代のニーズに焦点をあてた教育・研究分野の先端的授業を履修し学修することで、自らのキャリアアップ・キャリアチェンジに結び付けられるように支援することを目的としています。

### 令和3年度集中講義

それぞれ2日間程度で終了する医理工連携・MOT科目です。

#### ①「特許情報活用論」(1単位)

概要：1) 経営・研究の場において必要な技術の背景を把握するために、「特許情報」を活用する手法を身につける。  
2) 経営・研究の場において技術上の課題に直面したときに、「特許情報」を活用して解決するヒントを得る手法を身につける。  
3) 「特許情報」を地図のように整理(パテントマップ)して、経営・研究の場に活用する手法を学ぶ。

日時：9月16日(木)8:50~16:00, 9月17日(金)8:50~15:15

講義室：一般教育棟2号館PC実習室B(予定)

担当者：齋藤 昭彦・齋藤 博子(あきた知的財産事務所 代表弁理士)

#### ②「ヘルスケア工学概論」(1単位)

概要：健康リスクが高く、超高齢社会となった秋田県においては、健康維持・向上に必要なヘルスケア、健常者のライフステージに応じた老化や認知症などの診断、高齢者対応の医療・介護技術の向上に加え、遠隔・在宅医療の技術革新が求められている。

本講義では、医学系研究科と理工学研究科において行われている、人を対象とした最新の研究事例などについて、各専門の立場からオムニバス形式で講義する。

日時：10月1日~11月30日(オンデマンド)

担当者：水戸部 一孝(代表)(理工学研究科 教授)

#### ③「知的財産論」(1単位)

概要：本講義は、我が国の知的財産権制度とその活用を理解することを目的とする。講義の導入として、そもそも知的財産とは何か、知的財産の世界的潮流、私たちの生活に知的財産という概念が何故必要であるかについて概説する。その後、知的財産権法を構成する各要素、すなわち特許(発明)、実用新案(簡易発明)、意匠(デザイン)、商標(ブランド)、著作権、およびその他の法令等について説明し、これらの法的な意味の理解、ものづくりにおける知的財産権の重要性、知的財産権の活用(知財流通)について説明する。

日時：10月1日~11月30日(オンデマンド)

担当者：伊藤 慎一(産学連携推進機構 准教授)

#### ④「ベンチャー起業論」(1単位)

概要：起業家として必要な経営戦略の考え方や財務の基本を習得するために、経営管理や財務の基本、最近の戦略志向、マーケティングの考え方、ICT/IoTの活用方法等を学ぶとともに、経営戦略の構築方法とその展開方法、経営戦略の取りまとめ方法を学習する。

日時：10月23日(土)8:50~16:00, 10月24日(日)8:50~15:15

講義室：一般教育棟2号館PC実習室B(予定)

担当者：佐藤 善友((有)ジー・エフ・シー 代表取締役)

## Point !

入学料、授業料は無料です。 ※検定料 9,800 円は必要です。

最終学歴が高等学校等卒業の方も履修できます。 ※履修資格審査は必要です。

将来、秋田大学大学院に正規生として進学された場合は、所定の手続きを経て、本プログラムの履修単位を入学後に修得したものとみなすことができます。

## 本プログラム利用者の声

- ・このプログラムをきっかけに秋田大学大学院への社会人入学を決めた。
- ・仕事と勉学の両立は大変だったが、学生さんと一緒に授業を受けることにより学ぶことの楽しさを思い出した。
- ・授業を受けることにより秋田大学の研究者と知り合え、ネットワークを構築することができた。今後、秋田大学との共同研究に発展させたい。

etc.

履修案内や出願書類の様式は秋田大学ホームページに掲載しております。  
<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/research/index.html>  
お問い合わせやご要望は担当までお気軽にご連絡ください。  
多くの方のご利用をお待ちしております。

## 担 当

国立大学法人秋田大学 地方創生・研究推進課 総務担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL : 018-889-2090

FAX : 018-889-2928

E-mail : [gakken@jim.u.akita-u.ac.jp](mailto:gakken@jim.u.akita-u.ac.jp)